



魔法少女
苗床ばつどえんど!
~VSエロ調教ダンジョン~

基本:15枚
本文:105枚
総枚数:210枚

はあ…

ようやく着いた…!!
ここが噂のダンジョンね!

町外れの森の奥深く。
人里離れた場所に建つこのダンジョンには、ある噂があった。

なんでもこのダンジョンには強力な魔物が住み着いており、
討伐に向かった魔法少女が誰一人として帰還していないらしい。

挙句彼女らの安否を確認すべく
派遣された調査部隊からも連絡が途絶え、
いつしかミイラ取りがミイラになることを恐れて
誰も足を踏み入れなくなってしまうたそうだ。

町のみんなには
危ないって止められたけど…
でも、そんな危険な魔物なら
なおさら放っておけないわ

今はまだ大人しく
してるみたいだけど、
町に現れたら
それこそ一大事だしね

新米だけど…
私だって立派な
魔法少女だもの！

みんなの平和のために
絶対退治してやるんだから！



昼間だって言うのに
ずいぶん薄暗いわね…

それになんだか
妙にじめじめして…

おやおや
これは久々の客人だ

っ！

誰かいるの!?



その気配：
あなた人間じゃ
ないわね

いかにも
我らは触手族
このダンジョンの
主である

人語を解する魔物、って
とんでもない上級魔族じゃない……！
これは一筋縄じゃいかないな……

一つ質問しても
いいかしら

あなたさっき
久しぶりの客人だと
言ったわよね



単刀直入に聞くわ
私の前に訪れた
魔法少女たちを
どうしたの？

ふむ…
殺してはない、
とだけ言っておこうか

…どうしようかと？

なに、お前も
いずれ身をもって
知ることになるさ

そんなことより…
敵陣で足元を
疎かにするのは
危ないんじゃないか？

へ？
…っ!?

なに…!?
急に足元が
ぬるついて…っ!



っう
……なっ!?

ああ

言わん
こっちゃんない

な、す、スライム!?
なんてところに……!

足を滑らせたぬめりの正体は、
どうやらスライムだったらしい。

私が倒れこんだのをいいことに、
奴らは足元から身体を這いあがってきた。
際どい部分をぬるぬると這い回られて、
布越しと言えど不快感に
肌が粟立つのを感じる。

くっ…
舐められたものね!

こんな反射で
動くだけの低級魔族、
魔法で焼き払って…

…あ、あれ?

なんで…!?

魔法が
使えない…!?

いつものように魔法を発動しようと試みるも、
なぜか魔力を放出することが出来ない。
半ばパニックになりながら何度も試したが、
無情にも結果は変わらなかった。

くく…
気が付いた
ようだな

あなた、
一体何をっ…
ひんっ!

や、やだっ…!!

乳首と、
クリ…
つままれてるっ…

どんっ♡



このダンジョンには
結界を張っているのだよ

貴様ら魔法少女の
魔力を制限する、
特製の結界をな

なん、
ですって…!?



このこの
卑怯者…!

みんなの事も
こうやって
陥れたのね…!?

あうっ♡

人間きの
悪いことを言う

我らは自らの能力を
活かして戦っただけだ
貴様らが魔法を
駆使するようにな



くっ…

どうしよう…
いくらスライムとは言え、
生身じゃどうすることも…



ひいっ♡
だめえ♡

そんなんっ♡
マッサージする
みたいになっ♡

ぷにぷに
しないでええ♡

ずいぶんと
気に入られた
ようだな

まあ
無理もない

新鮮な魔法少女の
肉体は久しぶり
だからなあ

っ…
なによ、それ…!

まるで、そうじゃないのは
いつも味わってるみたいな…

んっ♡ んっ♡

んっ♡ んっ♡

んっ♡ んっ♡



ゆえにお前の同胞も
殺してはおらぬ

奴らは
我らにとつて
貴重な家畜

食料兼……
苗床なの
だからな

っ!!

何ですって!?

じゃあ、
捕らえられた
みんなは今頃……

ああ
こうしている間にも
我らの子を孕み、
産み続けておる

っ……
何てこと……!



おっと
仲間の心配を
している場合か？

ひぐううううっ!?

そんなっ♡
締め付けるみたいにつ♡
圧迫するなんてえ♡

中々良いいきっぷりだ
お前は良い母体に
なりそうだ

ひうっ♡
ふざ、けっ…♡
ひぐうううんっ♡

ぞわぞわぞわっ♡

っ!?!?
待っ♡

なんれっ♡
とまんにゃっ♡

いつへる♡もっ
イってうからあ♡

いい加減…っ
ぎゅーっしてるのっ♡
止めなひゃいよお♡

ビクッ♡

ビクッ♡

良いぞ
そのまま絞り続ける
魔法少女の清い身体に
下劣な快楽を
叩き込んでやるのだ

ひぎゅうううっ♡

ビクッ♡

ビクッ♡

ぞわぞわぞわっ♡



と、止まった…？

よかった…
あのまま続いてたら
私…わたし…

魔法少女よ

お前にはこれから
我らの試練に
挑戦してもらう

試練…
ですって…？

ああ

お前にはこれから
我らの待ち受ける
最上階へと
向かってもらう

は

は



道中には貴様の身体を
蹂躪するトラップを
仕込んである

それらに最後まで
屈しなければ
お前の勝ちだ
無傷で解放してやろう

ただし…
屈してしまった場合
大人しく我らの
苗床となってもらう
哀れなお仲間のようにな

っ…!!

いいわ
やってやるわよ!

無事に耐えきって
みんなのこと
助けてみせるんだから!

ひく…
ひく…



威勢が良いな
つくづく墮とすのが
楽しみだ

…ところでお前
今の格好を
自覚しているか？

へ…？

っ…!?
なによこれっ！

ふ、服が
溶けて…!?

おはよう

試練を受けやすいよう
局部のみスライムで
溶かしてやったのだ

よく似合っているぞ

っ……!

こ、こんな
変態みたいな格好……!
私、魔法少女なのに……!

もう絶対に許せない!
何としても耐え抜いて
ここから脱出
してやるんだから……!!



何よこれ？
…小瓶？

明らかに怪しい…
…けど、

2階に昇った私を待ち受けていたのは、閉ざされた鉄の扉…
…そして、その脇にこれ見よがしに置かれた怪しげな小瓶だった。

…どうせ、飲まないって
選択肢はないんでしょ？

クク…その通り

物分かりがよくて
助かるよ

はあ、
仕方ないか…

吐き捨てるように呟いた後、
私は意を決して小瓶の中身を
一気に飲み干した。



扉を開けて部屋に入ると、
抵抗する間もなく触手に両腕を縛られてしまった。

くっ、身動きが…
ほんといい趣味
してるわね

それにしてもあの薬
一体なんだったんだろう…
今のところ身体に影響は
出てないみたいだけど…

警戒している
ようだな…

安心しろ
あれは毒薬の
類ではない

…じゃあ
何だっけ言うの？
もったいぶらずに
教えなさいよ

即効性だからな、
説明するまでもなく
直に効いてくるだろうが…
…まあ良い



んっ…何？
胸が、熱く…

その薬は少しばかり
身体機能を強化
してやるものだ

平たく言えば
ドーピング剤の
ようなものかな

身体、
機能…？

ホルモンの働きを
促進することによって
特定の機能を強化させる
薬なのだよ

具体的に言うと、
そう…



つきやあああ!?

う、嘘っ…!
こんな…
私の胸が…!?

乳房の肥大、
及び乳腺の発達が
主な効能だ

ふはは、
苗床に似合いの
下品な身体付きに
なったじゃないか

もはやその胸で
魔法少女は
名乗れмайて

っ…!!

ぶ
る
ん
!!

ふざけないで！
私は…誇り高い
魔法少女なんだから…！

さっさと
戻しなさいよ
この変態！！

そう喚くな
あの程度の量なら
あくまで変化は
一時的な物だ

搾り切ってしまったら
元の大きさに戻るからな、
せいぜい頑張りたまえ

搾…
ってまさか…！

ゆさっ

たふっ

クィー…！

奴が話し終えるのと同時に、
両胸にお椀のような物が取り付けられた。
そして……

どうだ？
軽く吸われるだけで
母乳が止まらないだろう

ぶひゃ

あーっ♡
あああーっ!!♡

やだ、なにこれ…!
おっぱい出してるだけなのに
全身ぞくぞくってえ…♡

ひゅるるん!

くく、話すことすら
ままならぬか

まあ当然だな、
何せあの薬には
催淫剤も配合
してあるからな…

搾られているだけで
気が狂いそうな快感が
全身に走って
いるのではないか？

ひゃ

くっ…この、お…!
ドへんたっ…
ああああんっ♡

憎まれ口を
叩く余裕があるなら
もっと強めても
大丈夫だな

おい、
さらに激しく
吸い上げてやれ

なっ、やめっ…
ひいいいんっ!!♡

ひゅるるるっ!
びゅるるるっ!

だめええ♡

敏感ちくびっ♡
内側から濃厚ミルクで
ずっと擦られてえ♡

こんにゃのっ♡
頭おかしくなるう♡

ひううううっ♡

びゅるるるっ!
びゅるるるっ!



無様に肥大化した乳を
良いように弄ばれる
気分はどうだ？

魔法少女
アンナよ

っ…
最低の、
気分よ…！

びゅるっ
ひゅぶぶ
ぶぶぶ

びゅるっ

ひゅし

ふむ、
既に快感で
頭がとろけそうに
なっているだろうに…

なかなかの
気力の持ち主だな
ならばこれでどうだ？



ビクッ

…おおおっ!?!♡

今度はなにっ…

グッ
グッ

しかし面白いな
突かれるたびに
乳を下品に
揺らしおって：

まるで種付け
されている牛の
ようだなあ？

ひああああんっ♡

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

悔しい…
くやしいいいい…♡
言い返したいのに…♡

だんだん、頭が…
回らなくなつて…♡
きもちいのに、
塗り潰されちゃっ…♡

はああん…っ！♡

ビュッ

ビュッ

ビュッ

たぷっ

あっ♡
あぁあっ♡

子宮のおくっ♡
ノックされへえ♡

乳首もミルクで
ずりずり擦られてえ♡

ぬぶっ♡

ひゅっ♡

びゅるるっ♡

110

110

ぬぶっ♡

ぬぶっ♡

110

110

いいいくうっ♡
まらいくうっ♡

いくのとまんやい
のおおっ!!♡

くく、
これは早くも
降参かな？

威勢の良いのは
口だけだったか

っ……！

そうだ、ここで
負けちゃったら
私……！

110
110

110

110

110

そん、なわけっ……
ないでしょ……！

私は、正義の
魔法少女……

あんたみたいな魔物に
負けるわけには
いかないんだから……！

ふふ、
そう来なくては

ひにやあああ
ああんっ…!!♡

さあ、さっさと搾り切って
次の試練に移ろうじゃないか
我々も協力してやるぞ

ひん
っ
っ

びゅるるん

ひん

ひん

ひん

ひん

分かった、
わかつひやからあ♡

おまんこトントン
しにやいれええ♡



はあ…
ひどい目にあつた

まさか搾り終えるまでに
2時間もかかるだなんて…

最上階は…
たしか6階だったかな

うう…
こんなのがあと4種類も
待ち受けてるなんて、
考えただけで気が重く…

何をぼさっとしておるのだ
次の部屋に着いたぞ



…ずいぶんと
細長い部屋ね

部屋って言うより
まるで廊下みたい

扉を開けた先に広がっていたのは、やけに幅の狭い長方形の一室だった。
10mほど先にもう一つ扉が見えるがそれ以外は何も見当たらない。

強いて違和感を
挙げるとすればこの壁ね
触手みたいな手触りで
気味が悪いったら

今回の条件は
ただひとつ

無事に向こう側の
扉へとたどり着き、
この部屋から
脱出することだ

…?
それだけ?

ふん
舐められたものね

どうせまた変態臭い罠が
仕掛けてあるんでしょうけど、
この距離なら
走り抜ければどうとでも…

な……つて
きやああ!?

なっ、
なによこれえ!?

何これ、
どこから出てきたの!?
幻覚…!?

いや、違う!
ちゃんと実体が伴ってる…!
この一瞬で一体どうやって…

何を狼狽えておる
我々は貴様が嫌がるから
少しでも局部を
隠してやろうとだな…

うるさい!
御託はいいから
何をしたのか
教えなさいよ!

くく…さて、
何をされたん
だろうなあ?

っ…!
はぐらかさないで
ちゃんと…



教えっ…

へああああ…っ!?

なに、なんなの…!?
急に、おまんこにつ
何か…あっ…♡

ビクッ

おやおや
今度は急に
デイルドが
現れたなあ?

ゼンッ

ひあああぁっ♡

ぬいっ…

そう言えば…
こうなる直前
意識が一瞬
途切れたような…?

まさか、
これって…

時間停止
魔法…!?

くく、ご名答
全てはお前の時間を
止めている間に
行ったのだよ

ふざけないで!
こんなの卑怯じゃない!

卑怯? 馬鹿を言うな
時間を動かしている間に
少しずつ進めばいいだけの
話ではないか

無駄を口叩いている
暇があれば少しでも
足を動かせ

さもないと…





~~~~~♡!?!?

どんどん不利に  
なっていくぞ?

停止中に受けた刺激は  
解除後一気に  
襲い掛かってくるからな

ひくひくひく  
~~~~~!!?

だ、だめ…♡
ちよつとずつでも
進まないと…!!

でないよ、
こいつの思う壺に…





っ…
私、いつの間に
倒れて…

って、あれ？
玩具が外されてる…？

なんだもう
ばてたのか

このままでは
一歩も進めぬまま
負けてしまうぞ？

正義の魔法少女が
こんな無様な最期を
迎えていいのか？

うる、さっ…

悔しい、けど…
こいつの言う通り…！

立たなきゃ、
立って進まなきゃ…
幸いデイルドも
ローターも外れてるし
この隙に…





ひいっ
ひいっ
ひいっ
♡



んんんん♡

触手、が…
入っ…♡

どうだ？
無機質な玩具より
弾力のある触手の方が
断然フィットして
気持ち良いだろう

お前の同胞達も
これが好物なんだぞ
暇さえあれば
挿れてほしいと
ねだってくる
ぐらいにな

そんなにや、
わけえっ…♡
んひいひいっ♡



こんなに馬鹿にされて
黙ってるわけには…
でも、でも…





らめえへええっ♡

やっぱり無理
らよおおおおっ♡

子宮がじんじんしてえっ♡
イクのとまんじやいのおおっ♡

なんだ、
もう降参か？

だったらトドメに
もう一回…

んっほおおお♡

やめっ、もうやめへえ…!!
あたま、ばかになっひや…!!

びくびくびくびく





もはや声すら
出せぬか
しかし物凄い
イキっぷりだな
魔法少女の
名が泣くぞ

~~~~~!!♡

キラッ♡♡  
キラッ♡♡

ほっ…♡  
んおっ~~~~♡  
♡♡♡

びくびくびく  
びくびくびく



...ふむ、  
あまりに一方的過ぎて  
つまらなくなってきたな

仕方ない、  
この部屋は  
もうこの辺りで  
勘弁してやるか

っ♡♡♡  
へう♡♡♡  
ほ、ほんとに...?

ああ、  
本当だとも

立ち上がって  
進むが良い

良かった...

クワッ...  
クワッ...



…なんて  
言うんでも  
思ったか？

ゴアッ...

ゴアッ

ゴアッ

ゴアッ  
ゴアッ







んっ...んっ...

はぁん...はぁん...

はぁん...はぁん...

んっ...んっ...  
♡♡

はぁん...

どうだ？  
気を抜いたところに  
叩き込まれる快感は  
格別だろう

ほっおほっお  
おほっおほっお♡♡

んっ...んっ...  
はぁん...はぁん...

…ん？  
なんだ、  
気を失ったのか

やれやれ  
本当に一方的な  
戦いになってしまったなあ  
情けない魔法少女だ

たーら女!!!

ひし…

ひし…





気絶から目覚めると、私は謎の機械に拘束されていた。  
奴の口ぶりから察するに、どうやらここは4階らしい。

何のつもり？  
さっきの部屋で私は  
負けたんじゃないの？

それでもよかったが…  
何せ久しぶりの  
客人だからなあ

どうせなら自ら苗床だと  
認めさせたくてな

…！本当に  
悪趣味な奴…！

とは言え、実  
際助かったわね…

あのまま  
負けに扱いになってたら  
きつともう逃げ場は  
なかったでしょうし…

さつきは  
予測不可能な罠だったけど  
幸いこの部屋はそういう  
タイプじゃないみたいだし

今度こそ絶対に  
耐え抜いてやる…!

いいわ！来るなら  
さつきと来なさい！

その選択  
後悔させてや  
るんだから！



そうかい、  
では遠慮なく

ひんっ……!  
にや、にやに  
これえ……♡

ぷにぷにして  
あったかくてえ……♡

ビクッ

いわゆる  
オナホルの小型版だ  
包み込まれているだけで  
心地良いだろう？

ふぐううう……♡

クイーン

さて、次は挿入……  
といきたいところだが

んむっ!?

予定が狂ったせいで  
下準備がまだだね

せっかくだから  
お前にも手伝って  
もらおうか

ズボッ!

んっ…  
ふむ、んうっ…♡

何これ、まるで…  
お、おちんちん  
みたいなの…

いやあ…!!  
女の子の口になんて物  
突っ込んでるのよ…!!

さあ、痛い思いを  
したくなければ  
しっかりしゃぶって  
濡らすのだぞ

では  
お待ちかねの…

んうっ!?!♡  
ふ、う…んっ♡  
ううっうううっ!♡

ビクッ

オナホのスイッチを  
入れてやったぞ

敏感な突起を  
容赦なく揉み込まれる  
気分はどうだ?

ふむううううっ!!♡

ググググ…



いやっ♡  
いやああ♡

敏感なところ、  
全部いっしょに  
マッサージするなんて♡  
ずるいよおお♡

ビクッ♡  
ビクッ♡

こんなの♡  
イクっ♡すぐイクっ♡  
イクのっ♡我慢出来る  
わけないっ♡

んむうううううっ♡

とろろ♡

きゅん♡

きゅん♡



どれ、  
そろそろいいか

んっ♡  
ひああああんっ♡

枷が外れた  
途端に大絶叫か  
なんともみっともない

やあっ♡らっへっ♡  
こんにゃのおっ♡  
んあああああんっ♡

も、ずつとイキつ  
ぱなひらからあっ♡  
おねがいつ♡とめへええ♡

ちゅぽん

ググググ...

やれやれ、  
今からデイルドも  
追加だと言うのに  
先が思いやられるな

っ...!

そ、そうだった…!

だめ、え…♡  
クリと、乳首  
揉まれて…♡

それだけで、  
死ぬほど気持ち  
良いのにい…!♡

その上、  
こんな太いの  
挿れられたら…♡

ふぐうううっ…♡  
だめっ♡おねがっ…♡  
それだけ、はあ…!♡

嫌だと言いつつ膣口は  
既にぐちよぐちよじゃないか  
しゃぶりながら想像して  
期待していたんじゃないのか?

ひひ…♡

ググググ…

何にせよ敵の  
懇願など…

聞き入れるわけ  
ないだろう！

あああああっ♡

ずいぶんすんなり  
入ったじゃないか  
奥の方までぬるぬるで…  
まるで洪水だな

はああ~~~~っ♡  
ああ~~~~っん…♡

幸せそうな声で  
よがりおって…

やはりお前には  
下品な苗床が相応しい

いい加減  
降参したらどうだ？



うる、ひゃ…  
わらひはあっ♡  
なえどこにやんかじゃ…っ  
んああああああんっ!!♡

やらっ♡なんれえ♡  
スピードが、早くっ…♡

強情な家畜には  
お仕置が必要だからな  
これからは反抗的な  
態度を示すことに  
責めが強まるものと思え

んひいひいっ♡



もう一度聞けど  
お前は何者だ？

っ…  
わらひはあっ♡  
せいぎの、  
まほうしよう…

んひいいいん♡

…もしかして  
仕置きを期待して  
わざと抵抗しているのか？

やれやれとんだ  
マゾヒストだな

こんなド変態が  
魔法少女など  
世も末だ

ブリ  
ブリ  
ブリ

ブリ  
ブリ

ブリ  
ブリ

ちがっ♡  
そんなにやわけっ♡

あああああ♡

ブリ  
ブリ



だめえっ♡  
きもちいとこ♡  
全部いじめられてえ♡

アンナっ♡  
ばかになりゆっ♡

あたまっ♡  
ふわふわしちゃうっ♡

だめにゃのにつ♡  
飲まれちゃ  
だめなのにつ♡

も、やらあっ♡  
クリもっ♡乳首もっ♡  
おまんこもお♡  
これ以上  
いじめないれえっ♡

ふはは、斬新な命乞いだな  
ならばもっといじめてやろう  
フルパワーモード、オン

ひにゃあああっ……♡

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

くく、どうだ？  
それぞれ一つだけでも  
簡単にイキ狂える  
ほどの快感だろう？

おまえけに  
身じろぎ一つとれず、  
快感を逃す  
ことすらままならず…

いい加減  
気が狂いそう  
なんじゃないか？

うううううんっ♡

こんにゃのっ♡  
ひどいよおお♡

こんなっ♡  
女の子の弱いところ  
全部ぐちゃぐちゃに  
するなんへええ♡

こんなのっ♡  
勝てるわけないっ♡  
負けるっ♡負けひゃうっ♡

イクっ♡またイクっ♡  
きもちいいのっ♡  
また登ってくるっ♡  
あああきひゃううっ♡

ブリ  
ブリ  
ブリ

ブリ  
ブリ  
ブリ

ブリ  
ブリ  
ブリ

ブリ  
ブリ  
ブリ





イっ……  
あ、あれ……?

なんで、  
止まっ……?

なぜって……  
最大出力にしても  
お前がなかなか音を  
上げないものだから  
潔く諦めたのだよ

この階はお前の  
勝ちだ、良かったな

へ……そんな……  
あと、ちよつとで……

ん?  
あとちよつとで……  
なんだ?

アッ……

っ…な、なんでもないわよ！  
ほら！私の勝ちなんですよ！  
さっさと拘束を外してくれろ！

まあ待て  
今外してやる

あ、危なかった…  
私、何を言いかけて…

ギリギリまで高められたまま  
解放されなかった熱がくすぶって、  
全身が熱くて堪らない。

乳首が、クリトリスが、子宮が、  
じくじくと疼いて頭がおかしくなりそうだ。

もはやスカートに衣擦れだけでイきそうなほど  
敏感になった身体を必死で引きずりながら、  
私は4階を後にした。



……

どうした？  
さっきからやけに  
静かじゃないか

……うるさい  
なんでもないわよ

そうかね  
……ああほら、  
5階に着いたぞ

お前はそこの  
バーに掴まって  
待機していなさい

……？  
今度は一体  
何を……って!?



またデイルド：  
それも、イボイボが付いてて  
さっきのより気持ち良さそ…

い、いや！  
何考えてるのよ！

で？  
この部屋の条件は!?

今回は至って  
シンプルだ

そのデイルドを挿入して  
百回ピストンしたらクリア  
簡単だろう？

……

簡単…

とは言いたくないけど  
自分のペースで出来る分  
今までの部屋よりは  
まだましかしら



では、  
カウントスタート!

んっ...!♡  
んんっ...!♡

敏感になってる  
おまんこ、イボに  
ゴリゴリられて...♡

だめっ♡  
挿れただけでっ...♡  
もう、軽くイっちゃっ...♡

ほらほらどうした  
まだ一回目だぞ

うる、さい...!  
黙って、見てなさっ...  
んんんっ!♡

びびっ...



2、3、4…

んっ♡んほっ♡  
んおおっ♡

あぁっ♡しゅっ♡  
き、気持ちっ♡  
やっ♡とっ♡やっ♡とっ♡

5、6、7…

んっ♡んおお  
おおおっ!!♡



おっ♡おっ♡  
おっ♡

25、26…

…一応言っておくが、  
浅くてもゆっくりでも  
一回は一回だからな  
急ぐ必要はないんだぞ

うる、ひゃっ…♡  
わらひはっ…♡  
早く、クリアしたい  
だけで、えっ♡

42  
おっ♡

ほっおっおっおんっ♡

そういうことに  
しておいてやる

32、33…

44  
おっ♡

45  
おっ♡

たっ♡ 3:30

46  
おっ♡

47  
おっ♡

48  
おっ♡



も、もうすぐ  
折返しよねっ♡

ペース：早めた  
方がいいかな

んっ♡んんっ♡  
んひいいいっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

き、気持ちいいいっ♡  
もっどっ♡：っじやなくて！

ピストンを早めて  
さっさと終わらせ  
ちゃわないと…！！

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡



んっほおおおおおっ♡  
おおおおっ♡おおおおおっ♡  
おおおおっ♡

あああっ♡イクっ♡  
まらイクうっ♡

おまんこ  
イっちやうよおおっ♡



はああんっ♡  
気持ち良いっ♡

焦らされたせいであっ♡  
おまんこ気持ち  
良すぎるよお♡

もっと♡  
もっとお…♡

110  
おまんこ

110  
おまんこ

110  
おまんこ

110  
おまんこ

110  
おまんこ

110  
おまんこ

110  
おまんこ

86、  
87…

んっほおおおおっ♡



ご苦労だったな  
これで…

ほっおおおおおん♡

110  
おん

110  
おん

110  
おん

110  
おん

110  
おん

110  
おん

110  
おん

おい、終わったぞ？  
止めなくていいのか？

んおおおおお♡

…聞こえてないか



はあ…  
は、あ、あれ…?  
カウントは…?

くく、知りたいか?  
今ので162回目だ

へっ…!?!  
う、嘘…!

本当だとも

何度もクリアだと  
アナウンスしてやったのに  
それすら聞こえぬほど没頭し  
みっともなく腰を振り続けて…

まるで発情したぞ?  
獣のようだったぞ?

っ…!

さ、最低…!!  
私、最低だわ…!!

いくら身体が  
火照ってたからって  
自分からこんな…!!

これじゃあ  
本当にただの  
変態じゃない…!!

まあいくら惨めな  
姿を晒そうが  
クリアはクリアだからな

さあ、いよいよ  
次が最後の試練だ

最上階へ  
向かおうじゃないか



最上階に昇りつめた私を待ち受けていたのは、  
壁全体が触手で覆われた気味の悪い部屋だった。

さきほどは貴重な  
見世物があったがとう

魔法少女の  
オナニーショーなど  
早々見られる  
ものではないからな

っ…!!

しかしあそこまで乱れて  
なおも魔法少女としての  
矜持を捨てぬとは…

ますます苗床にするのが  
楽しみになったよ

っ、ほんとと  
悪趣味な奴…!!



悪態をつけるのも  
今のうちだ

それでは最後の試練を  
始めさせてもらおうか

っ…何よこれ

触手の先が、  
まるでブラシ  
みたいになってて…

ぬるぬるした液体が…  
塗り込まれて…!!

さて、この責め苦に  
耐えきることが出来れば  
お前はめでたく自由の身だ  
せいぜい頑張るのだな

ちゅんちゅん

しゅんちゅん

ぶちゅん

んっ…♡  
言われなくても…  
耐えてやるわよ…!!

15分後

んっ♡  
んんっ♡

何…また、  
身体が熱く…

ふむ…  
そろそろ効いてきた頃だろう  
調子はいかがかな？

まさか、これ…  
さっきの…!!

お察しの通り

搾乳部屋の薬に  
配合していた  
催淫剤の正体だよ

我らの体液には  
催淫効果があるのだ

たっぷりと粘膜吸収  
させてもらったからな…  
身体が火照って  
たまらないだろう？

つくうう…!!



まだ反抗するか  
本当に気の強い奴だ

ああっ!!♡

くく  
ハケを押し付け  
られただけで  
この悶え様…

包み込んで  
こねくり回して  
やったらどうなるかな?

なっ…  
やめっ…!!

さて、  
クリトリスと乳首…  
どちらを先にいじめて  
やるとするか…

ふんっ♡

ぬっっ

ぬっっ

ぬっっ

だめっ、来るっ…!  
こんな状態で  
まともに刺激されたら  
今度こそひとたまりも…!!

せめてこの二か所に  
意識を集中して、  
どうにか堪えなきゃ…



…と、

肝心なところを  
忘れておったな

は、

えっ…？

フリ  
フムム





忘れていた詫びに  
ひだとひだ間に至るまで  
あますことなく  
塗り込んでやるからな

やめっ♡やめひえ♡  
あたま、とろけちゃう♡

きもちいのでっ♡  
いっぱいになりゆう♡

それは何よりだ  
さて、仕上げに…





~~~~~♡

中に、
出っ…!?

子宮の中まで
たっぷりと
満たしてやろう

ほっ♡
おほおほっ♡

!!
!!
!!

!!
!!

!!

おっ♡おほっ♡
おほおっ♡

どうだ？
発情しきった子宮を
ノックされる気分は

獣のように
みっともない声を上げて…
みじめだなあ？
魔法少女よ

おっ♡
やっ、いやあ…♡
っほおっ♡

やだやだっ♡
やだああっ♡

やなのにいっ♡
下品な声っ♡
止まらないうお♡



ズッ

ズッ

ズッ

ぬちゅ

ぬちゅ

だめっ♡もぅっ♡
きもちよすぎてる♡
あたまばかになってる♡

おまんこ気持ち
良すぎるよおお…♡

あああゝゝっ！♡
らめえええっ♡

敏感おまんこ
ぐちゃぐちゃ
かき混ぜないでえっ♡

いい、イクうっ♡
イクのとまん
にやいのおおっ♡

あああっ♡
まらいつひゃうっ♡



トドメだ
思う存分
イキ狂うが良い

んっほおおおお♡

ちくびっ♡クリもおお♡♡
こねこねだめえええ♡

ばらめっ♡
ぽかになっひやうう♡

もう、
きもちいいことしか
考えられないっ♡

アンナ：
魔法少女失格のっ♡
ド変態になっちやうよおお♡

ぬちゅん

ぬちゅん

ぬちゅん

ぬちゅん

ぬちゅん

ぬちゅん

ぬちゅん

ぬちゅん

ド変態？

違うな
お前はもはや
人間ですらない

我らの家畜…
…苗床に
なるのだからな

ぬちゅん

ぬちゅん

ひぐううううう♡
子宮突きあげながらっ♡
勃起乳首とクリちゃん
シコシコおお♡

こ、こんなの…
ずるいっ♡

勝てるわけ
ないよおお…♡

んんんんんん♡

ぬちゅん

ぬちゅん

ぬちゅん

ぬちゅん

ぬちゅん



さあアンナよ
まだ抵抗
するつもりか？

ひっ…

あっ…

ひっ…

抵抗…？
あれ…私、なんで
逆らってたんだっけ…？

こんな気持ち良いこと
してもらえるのに、
どうして
嫌がってたんだらう…♡

…どうやら意思は
固まったようだな

改めて問おう
元・魔法少女アンナよ

我らの苗床に
なってくれるな？

堕ちた魔法少女よ：
これからはその卑しい身体、
我らが有効活用してやろう

魔法少女に戻りたいなどと
一瞬でも考えられないくらい
たっぷりとな

え、えへへ…♡
ありがとう
ございますう♡

アンナ、
触手のママになれるよう…
精一杯がんばります♡





一ヶ月後

あっ♡
へあっ♡

おへえ♡





ふむ：

腹も膨れて一段と
苗床らしい身体付きに
なってきたじゃないか

この調子だと
来週には
生まれそうだな

ひあっ♡
ほひっ♡
♡

びゅるるるー♡

ひゅっ♡
ひゅっ♡
ひゅっ♡

びゅるるる

びゅるるる

びゅるるる

どれ：
スムーズに出産
出来るよう、
少し手伝ってやるか

んひいひいっ♡

ブリ
ン
ン

ハ
ッ
ッ

ハ
ッ
ッ

ハ
ッ
ッ

ハ
ッ
ッ

子宮口を
揉み解される
気分はどうだ？

出産当日まで
毎日マッサージして
やるからな、
ありがたく思えよ

はひい♡
あっ、りがとうっ♡
ごひやいまひゅ♡



しかしまだ
生まれてすらいなのに
凄い母乳の量だな

あっ♡
ごめんなひゃっ♡

おっぱいっ♡
馬鹿になってて♡
ごめんなひゃい♡

なに、
母体が健康なのは
良いことだ
その方が丈夫な子が
産めるからな

はひいんっ…♡



この調子なら間を置かずに
次の仕込みに移れそうだ


今孕んでいる子が生まれ次第
二匹目の仕込みを始めるからな
せいぜい頑張ってくれたまえ

はへっ♡
はひいい♡

アンリっ♡
一人前の
苗床になれるよう…

せーいっばい
がんばりますう♡





うむ、
良い返事だ

えへっ♡

アンリ、
いっぱい
がんばるからあ♡

ちゃんと、
元気な子が
産めたらっ♡

また、たーっぶり
種付けして
くださいね♡

…ああ、
もちろんだ

期待しているぞ
元・魔法少女よ































































































































びびびび...



















































































